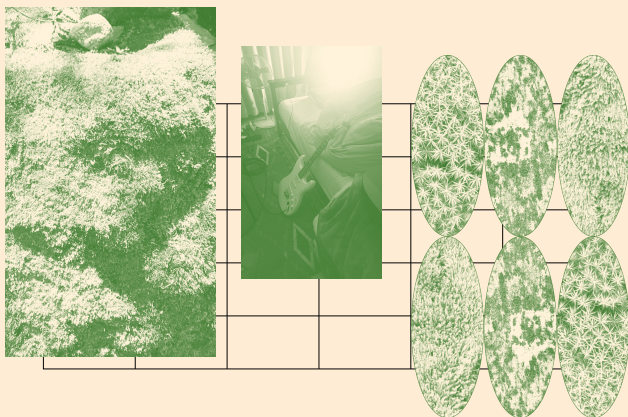


蛙
aze



susumu ishii 山本 海

目次

プロフィール

お気に入り機材紹介

愛聴盤五選

一問一答

蛙



山本 海

© kaickean

1998 年生まれ。福岡市在住。

2020 年にギターを始め、2021 年より個人での音楽活動開始。

福岡市を中心に弾き語りでライブ活動を行う。

宅録による自主制作音源を各種ストリーミングサービスにて配信中。

2024 年よりバンドセットでも活動。

ホームページ





susumu ishii

◎ 14_1_

1998 年、東京都練馬区生まれ、育ち。

2019 年より静岡県、兵庫県とあちこちを移り住む。

2023 年、福岡県福岡市に移住し音楽活動を開始する。

日本のフォークミュージック、各地で出会った数々の音楽家をルーツに、アコースティックギターでの弾き語りをメインに活動中。

山本 海

お気に入り機材紹介

YAMAHA CS40J

一昨年から作曲と弾き語りで使っているガットギターです。
いま弾き語りでやっている曲の多くはこのギターで書きました。

ギターを始めてから二年半ほどはストローク奏法による近所迷惑が気になって家で弾けなかったのですが、このギターを使い始めると同時にアルペジオ奏法を始めてからは弾けるようになりました。張力が弱いのでアルペジオ奏法の練習向き。ぼくは何かと小さくて質素なものが好きなので、ぴったりのギターです。



愛聴盤五選

Andy Shauf / The Bearer of Bad News

Andy Shauf はたしかギターを始めた頃にたまたま YouTube で見つけて好きになりました。ルーツと言えるミュージシャンの一人です。平坦で質素。受け取らせたいものが仕掛けられていないようなところに余裕を感じて好きなのかも。

Bahamas / Sad Hunk

とにかく曲とサウンドが好き。アルバム全体を通して整然とした統一感があって、工芸品のような雰囲気があります。小津安二郎に似た美学を感じる。これはレコードを持っています。

Whitney / Light Upon the Lake

頭の中で何か曲が流れ始めて離れないとき、思い出してみたらこのアルバムの曲だったということが非常に多い。別れた恋人から他の荷物と一緒にこのアルバムのカセットを返却されたことがあります。

フジファブリック / FAB FOX

フジファブリックは高校生のときにひたすら聴き込んでいました。初期のアルバム四枚の中ではこれが最も無骨でまとまっていると感じます。「虹」の開き直ったような爽やかさがなぜか切なく、なんて良い曲なんだろうといつも思います。

The Rolling Stones / Let It Bleed

自分でも忘れがちですがそう言えば好きです。変わり種を忍ばせたかったので選出。最初は良さが全く分らなかったのですが、分かりたくて大学生のときに聴き込みました。明け方に寝ながら聴いていたら急に分かるようになった思い出。

susumu ishii

お気に入り機材紹介

ThreeS T-3((1970 年代製)



ThreeS という国産メーカーの中古ギターです。「Troubadour(吟遊詩人) Series」という個体数の少ない型で、幻といわれる機種もあるそう。T-30 はたまに見かけられるのですが、それでも珍しい方なので、見つけたときは考える間もなく購入しました。小さいサイズながらも音粒がはっきりとしていて気に入っています。まだ出会って間もないのですが今は修理に出していて、帰ってくるその日を待っています。早くこれで曲を書きたいです。

愛聴盤五選

oono yuuki / 遠雷よあけ

私にとって先生のような作品です。

池間由布子 / My Landscape

初めて聴いたとき、衝撃を受けました。受けてすぐに、彼女のライブを観に行きました。衝撃を受けました。レコードを友だちに貸したらそのまま返ってこなくなりました。

John Prine / John Prine

ギターの指弾きに夢中になるきっかけはたくさんありますが、そのうちの一人です。曲はもちろん、歌っているときの佇まいも好き。職場にいる音楽好きの上司にジョンが好きだと話したら、それをきっかけに仲良くなりました。

The Velvet Underground / Live at Max's Kansas City

人生で初めて購入したレコードはこれ。当時プレイヤーを持っていなかったので人の家で聴いていたのですが、いつか行方不明に。その人がまだ持ってるのかな。「Sweet Jane」の皮肉で投げやりな感じがグッド。

Penguin Cafe Orchestra / Concert Program

とにかくサウンドが好きです。詳しいことはわかりません。私の感覚が好きと言っています。音楽ってそういうものだと思います。どれも素晴らしいのですが、「Number 1-4」、「Perpetuum Mobile」、「Nothing Really Blue」が好きです。「Organum」は朝起きるときのアラームに設定しています。聴いたら起きれそうな気がするのです。

山本 海

一問一答

生年月日と出身

1998 年 1 月 8 日生まれ、山口県山陽小野田市出身。

音楽の原体験

小さい頃、母の持っていたミニリパートンのベストアルバムを聴いていたのが原体験だと言えるかも。あとは幼稚園のとき気性が荒かったので、それを落ち着けるためにヴィヴァルディの「四季」を聴いていました。

活動のきっかけ

両親から大学卒業祝いでギターをもらったことです。そこからギターを始めて、バンドメンバーを集めるために宅録した作品を六本松蔦屋書店様でお取り扱いいただいたところから個人での活動が始まりました。

作詞作曲方法

まずは弾き語り形式でコード進行とメロディを一緒に考えることが多いです。日頃思い浮かんだり目にしたりして気になった言葉を iPhone のメモに貯めているので、歌詞は大体そこから着想を得て書き始めています。

作詞作曲するときに考えていること

素直かつ質素であることを大事にしていると思います。あとは言葉の意味の汎用性と響きを意識していて、具体的な事象や現象を意味しない抽象的な言葉を選ぶようにしています。

一日の中の好きな時間

時間帯なら夕方。日の長さで季節を感じるのに飽きないから。あとはシャワーを浴びているときに気持ちが落ち着いたり何か閃いたりするので、それは必要な時間かもしれないです。

趣味

サッカーの観戦と情報収集。後者に関しては習慣化しているので毎日義務のように繰り返しています。個人的に縁があったサガン鳥栖と、プレミアリーグのアーセナルというクラブが好きです。

好きな本・詩

好きな本は「月と六ペンス」です。モーム全般好き。感情が文体から直接的に伝わってこないものの方が好きなので村上春樹も好きです。詩はあまり読みません。そう言えば歌詞も全然読まないしあえて意識しないと聴けない。

好きな映画

「千と千尋の神隠し」、「秋刀魚の味」、「パーフェクトデイズ」、「バターソン」、「小説家を見つけたら」、「パラダイスの夕暮れ」。大学の卒論は「スターウォーズ」で書きました（「ローグワン」が好き）。小津安二郎には共感するところがある。

好きな場所

家以外だと近所の喫茶店とスタジオ。行きつけのお店があると自分の住む街を活用できている感覚になるので良いです。スタジオの方は実用性の意味で好き。

行ってみたい場所

四国。なぜかちょっとオリエンタルな雰囲気を感じるから。外国に行きたいという気持ちにはなったことがない気がします。雰囲気以前に直線距離の遠近で行きたいかどうかを考えている節があるかも。

帰り道で聴きたくなる曲

MIZの「バイクを飛ばして」。深夜にこれを聴きながら街を横断すると気持ち良いです。ぼくはバイク以前に免許を持っていないのでチャリチャリの安全運転で帰ります。

susumu ishii

一問一答

生年月日と出身

1998 年 1 月 30 日、東京都練馬区出身。人生の大半をこの街で過ごしました。緑が多く、大きな川が流れていて好きです。

音楽の原体験

教会の日曜学校へ通っていたところに聴いた、讃美歌や教会音楽。空間を流れて、最後は天に昇っていくような旋律の聴き心地がよくて、いつ聴いても安心します。

活動のきっかけ

いくつかあるのですが、2023 年 8 月、折坂悠太さんのライブを観たとき。自分の内側にしかない想いや気持ちをアウトプットせずに死んでいくのはもったいないなと思ったこと。

作詞作曲方法

ギターで遊んでいたら曲になるケースがほとんどです。それに詩を乗っけていく感じです。詩はふと思いついた言葉をメモしていて、それを参考にすることが多いです。

作詞作曲するときに考えていること

現象を言葉にすることを意識しています。自然だけではなく街の姿とか、雰囲気、人々の様子とか。作曲については、自分にとって聴き心地がよいかどうかを大切にしています。

一日の中の好きな時間

ギターを弾いている時間。眠る以外のことを全て完了させたとき。

趣味

山を登ること。最近はミールス（南インドの野菜をメインとした定食）を食べること。

好きな本・詩

谷川俊太郎さんの「空の青さを見つめていると」、「すてきなひとりぼっち」。最近菅原克己さんの「日の底」がお気に入り。いずれも詩集です。かこさとしさんの絵本も全般好きです。好きな詩はたくさんあるのですが、「さよならは仮のことば（谷川俊太郎）」、「この明るさのなかで（菅原克己）」。

好きな映画

洋画は「ニューシネマパラダイス」、「インサイドルーウィンデヴィス」、「パターソン」、「ラッキー」。邦画は「ホノカアボーイ」、「海よりもまだ深く」、「かもめ食堂」。など。映画はなるべく映画館で観たいです。

好きな場所

地元のとある路上。ひとりで考え事をしたり、友達と待ち合わせしたり。東京阿佐ヶ谷の「マスウェル」という酒場。福岡の喫茶店「Decon coffee」。それぞれの場所と人たちに何度救われたことか。

行ってみたい場所

北欧とインドに行ってみたいです。

帰り道で聴きたくなる曲

oono yuuki さんの「夜」。いちばん好きな曲です。

哇

綻んだ町の静やかな朝に
匙を投げたらぬかるんだ足

清々しいほど名残惜しさの
消え去っていくことを自嘲する

乱れた並びは整わぬままに
ありもしない話を語りはじめた

終わる周期の予感を覚えて
捨て去っているものを期待する

出やったり やった

発行情報

構成・編集・装丁・制作
山本 海

撮影
戸高浩太 山本 海 susumu ishii

「一問一答」項目考案
山本 海 susumu ishii

発行
令和七年七月二十六日

